



particle technology

PALAS®

Mas-Q-Check – Basic/Professional

マスク効率簡易チェッカー



2つのモデルが利用可能

Mas-Q-Check Basic

体積流量 9.5 L/min

Mas-Q-Check Professional

体積流量 95 L/min(上記写真)

Mas-Q-Checkの利点

- ・自動操作
- ・現場でマスク効率を迅速且つ正確に測定(測定結果は1分以内で表示)
- ・日常使用におけるマスクの品質管理
- ・フィルタ効率と漏れから実使用時のマスク効率を総合的に評価
- ・140 nmから10 μmの粒径範囲で高分解能に測定
- ・FFPクラス(ENで規定されているマスクグレード)と比較したマスク効率の評価
- ・ウイルスおよびバクテリア以上の粒径範囲で効率測定

概要

Palas社のMas-Q-Checkは、現場で使用する保護マスクの効率を迅速且つ正確に測定するために開発されました。

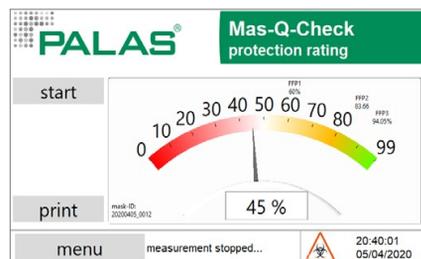
粒子の検出器に光散乱式の高分解能エアロゾルスペクトロメータを用いていることから、ウイルスや細菌などのサイズ範囲で効率的に検出することができます。このため病院や検査機関で働く医療従事者の保護マスクを現場でチェックしたり、効率を確認しながら保護マスクの正しい使い方をトレーニングするなど広く適応します。

保護マスクの効率は、マスク材料のろ過効率に加えて保護マスクを顔全体に適切にフィットさせることも重要となります。適切にフィットしないと隙間から空気が漏れるため、結果として保護マスクの効率は低下することになります。Mas-Q-Checkでは人の頭部を模擬した標準ヘッドを用いており、これにより保護マスクの実効率をシミュレーションすることができます。

特長

保護マスクは測定前に標準ヘッドに装着させます。測定を開始すると高分解能エアロゾルスペクトロメータを用いて初めに周囲空気中の粒子の粒径と個数濃度を測定します(保護マスクの上流を測定)。その後Mas-Q-Checkは自動的にラインを切替え、保護マスクを通過した下流中でも同様に粒子を測定します。上流と下流の比率から保護マスクの効率が1分以内で決定し、右図のように効率結果が表示されます(上流と下流の測定を数回繰返すことも可能です)。

Mas-Q-CheckはBasicとProfessionalの2つのモデルがあり、それぞれはEN149又はEN143に従って定義された9.5又は95 L/minの体積流量の吸引モードで動作します。



仕様

項目	詳細
粒子検出装置	光散乱式の高分解能エアロゾルスペクトロメータ
粒径範囲(μm)	0.14~10
濃度範囲(p/cm ³)	0~20000
体積流量(L/min)	9.5(Basicモデル) 95(Professionalモデル)
取得データ	256chのデジタルデータ
消費電力(W)	約200
インターフェイス	タッチスクリーン、800・480ピクセル
表示結果(%)	マスク効率
寸法 W・D・H(mm)	450×315×185(Basicモデル) 955×315×185(Professionalモデル)

※仕様は予告なく変更される場合がありますのでご了承下さい

 **東京ダイレック株式会社**

TOKYO DYLEC CORP.

東京本社 〒160-0014 東京都新宿区内藤町1 内藤町ビルディング
TEL 03-3355-3632 FAX 03-3353-6895 (代表)
TEL 03-5367-0891 FAX 03-5367-0892 (営業部)

西日本営業所 〒601-8027 京都市南区東九条中御霊町53-4-4F
TEL 075-672-3266 FAX 075-672-3276

<https://www.t-dylec.net> e-mail: info@tokyo-dylec.co.jp

May 2020